

令和3年度 消費生活相談の概要

1. 相談の状況

○相談総件数

1,524件（127件/月）

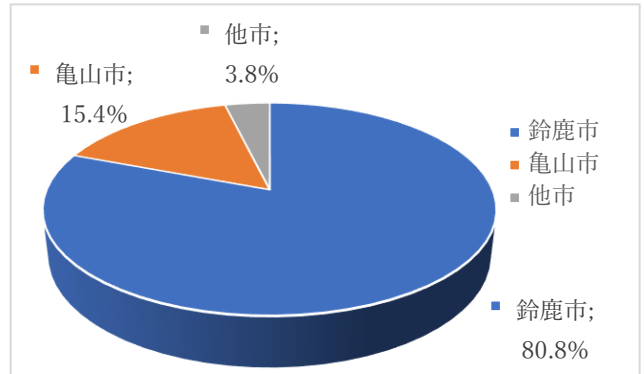
前年度比90.0%， 169件減少

○相談者の住所別

鈴鹿市 1,231件

亀山市 235件

他市 58件

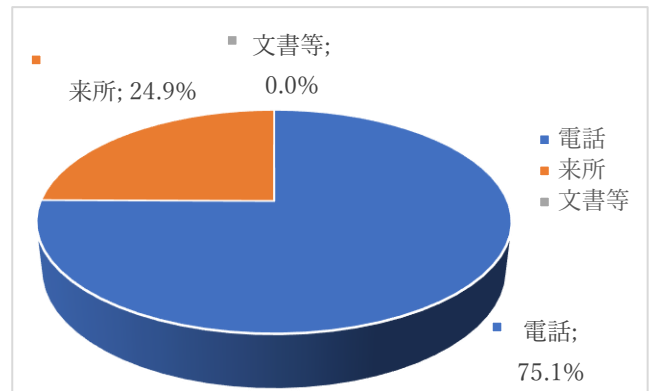


○相談方法別

電話による相談 1,145件

来所による相談 379件

文書等による相談 0件

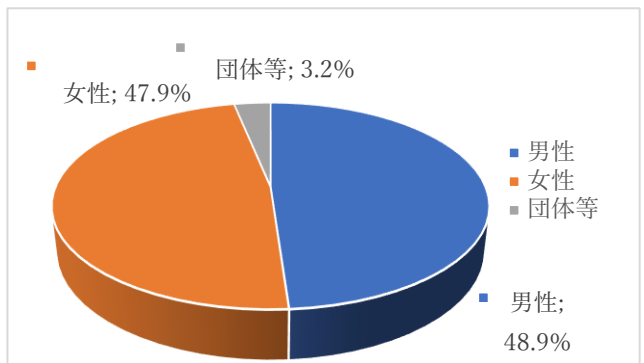


○性別

男性 745件

女性 730件

団体等 49件



○年代別

20歳未満 29件

20歳代 122件

30歳代 148件

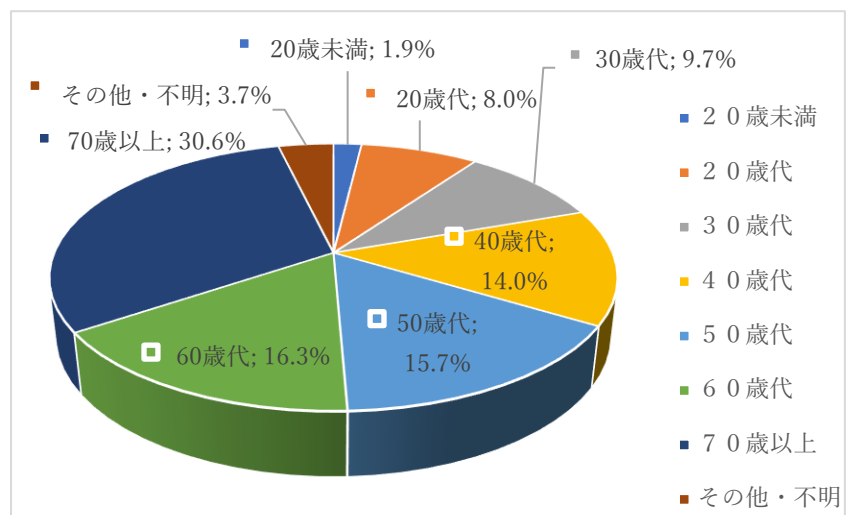
40歳代 213件

50歳代 240件

60歳代 248件

70歳以上 467件

その他・不明 57件



○弁護士相談件数

69件（前年度52件）

2. 相談の内容

○役務サービスに関する相談：334件（前年度236件）

- ・火災保険で住宅修理ができるとうたう火災保険申請サポートに関する相談
- ・インターネットを通じて開錠を依頼した業者からの高額な料金の請求に関する相談
- ・水回り修理業者からの広告表示を大幅に上回る高額な料金の請求に関する相談

○不審な電話・訪問・郵便物に関する相談：124件（前年度191件）

- ・大手電力会社のパートナーを名乗る不審な電話に関する相談
- ・架空請求ハガキに関する相談
- ・知らない人からのメールにより金銭を要求されていることに関する相談

○電子媒体（パソコン等）における架空請求・不当請求：85件（前年度161件）

- ・メールで「利用料金の未払い」を請求されたという架空請求に関する相談
- ・副業サイト・アダルトサイト・出会い系サイト業者による不当請求に関する相談
- ・オンラインゲームの課金などに関する相談

○教養・娯楽に関する相談：67件（前年度10件）

- ・子供のオンラインゲームでの高額課金に関する相談
- ・海外宝くじの当選や支援金のSMSが届いた等の相談

3. 啓発活動

○出前講座

公民館教室、老人会、サロン、まちづくり協議会、地区社会福祉協議会、幼稚園等

鈴鹿市 36回（732人）

亀山市 9回（181人）

合計 45回（913人）

※他：新型コロナウイルス感染症の影響により、延期また中止あり